

パギヤン(趙博 / チョウ・バク)



20 世紀中盤の大阪市西成区に生まれる。"浪花の歌う巨人・パギヤン"の愛称で親しまれている歌手・俳優・物書き。

CD『百年目のヤクソク』『原・減・言』『怒! 阿呆陀羅經』『ワテらは陽気な非国民』など、DVD『コンサート・百年を歌う』、著作『英語がわかる』『僕は在日関西人』『夢・葬送』『パギヤンのお阪案内』『「在日」無頼控』(2018 年 5 月、七つ森書館)など。【新宿梁山泊】の作家兼役者で『百年、風の仲間たち』『丹下左膳／百万両の夢枕』の脚本を担当、『月の家』『二都物語』などに出演。また、映画や小説を題材に一人芝居《歌うキネマ／声体文藝館》シリーズも各地で公演、演目は『砂の器』『飢餓海峡』『泥の河』『キクとイサム』『NUTS』『マルコムX』『西便制〜風の丘を越えて』『水滴 (目取真俊・原作)』など、15 タイトル。

川口真由美(かわぐち まゆみ)



京都在住のシンガーソングライター。障害者施設代表。3 人の子供を育てるシングルマザー。

戦争反対・護憲・反原発・沖縄基地建設反対などの運動に参加しながらメッセージを含めた弾き語りやピアノを使った演奏を行っている。辺野古には月 1 回ペースでゲート前の座り込みなどに参加。

その場においても「歌」や「踊り」で連帯を続けている。

肩を寄せ合い、力を寄せ合いながら生きる人々の中で、悩み、葛藤しながら紡いできた詩とメロディーの力強さは、多くの人々の心に響いている。そして、倒れても立ち上がり前に進む力を与えてくれる。2016 年、ファーストアルバム『想い 続けるー沖縄・平和を歌うー』、2018 年カンドアルバム『人のチカラ』をリリース。

重信メイ(しげのぶ めい)



中東問題、中東メディア専門家。1973 年、レバノン・ベイルート生まれ。日本赤軍のリーダー重信房子とパレスチナ人の父の娘として、無国籍のままアラブ社会で育つ。1997 年、ベイルートのアメリカン大学を卒業後、同国際政治学科大学院で政治学国際関係論を専攻。

2001 年 3 月に日本国籍を取得。来日後はアラブ関連のジャーナリストとして活躍。

2011 年同志社大学大学院でメディア学専攻博士課程を修了。現在、レバノン在住。パレスチナ問題を中心に幅広く講演活動も行っている。

<主著>『秘密ーパレスチナから桜の国へ 母と私の 28 年』(講談社、2002 年)

『中東のゲッターから』(ウェイツ、2003 年)

『「アラブの春」の正体ー欧米とメディアに踊らされた民主化革命』(角川書店、2012 年)